

子育て支援

## 赤ちゃんのイラスト決定

問い合わせ 子育て支援係 (☎0261)

### 森山陽菜さん(久代)の作品を採用 赤ちゃん訪問の電気自動車へペイント

赤ちゃん訪問などの子育て支援の業務に使う電気自動車アイ・ミーブの左右のドア部分を飾る赤ちゃんのイラストが決定しました。応募点数は272点。審査の結果、最優秀賞に森山陽菜さん(第二ひかり保育園)、優秀賞に、本行琢登くん(総社北小学校6年)と、小橋可奈子さん(総社小学校6年)の作品が選ばれました。森山さんの作品は、かわいい赤ちゃんが仲良く笑顔で遊んでいる様子を描いたものです。この作品を新たに導入する電気自動車アイ・ミーブにペイントし、近く皆さんに公開する予定です。



最優秀賞  
森山陽菜さん(第二ひかり保育園)



優秀賞  
本行琢登くん(総社北小学校6年)



優秀賞  
小橋可奈子さん(総社小学校6年)

## 入院の医療費は中学3年生終了まで対象に

入院時の保険内診療分の医療費が全額返ってくる対象年齢が、中学3年生終了まで(満15歳に達する日以降の最初の3月31日)に、平成22年10月1日(10月診療分)から拡大します。

今回対象となった中学生の子どもには小児医療費受給資格者証を発行しませんので、入院した場合は原則、退院後に申請をすれば、支払った入院時の保険内診療分の医療費の全額が返ってきます。

申請には、①該当する子どもの保険証、②対象となる医療費の領収書、③印かん、④支給用の口座番号が分かるものが必要です。①から④を持参し、こども課の窓口で手続きをしてください。

なお、ほかからの給付分や付加給付分などは差し引きます。

申請先・問い合わせ 子育て支援係 (☎0268)

## 小児医療費

## 公共交通

## 公共交通の見直し

問い合わせ 人権・まちづくり課

安全安心係 (☎0249)

### よりよい交通体系を目指す

市内の公共交通のあり方や、高齢者などの交通の便を確保する方策を協議する総社市地域公共交通協議会が7月21日、総合福祉センターで開かれました。会議には、委員であるバス・タクシー事業者や各種団体の代表者ら15人が出席。課題や問題

点を明確にし、今の公共交通のサービスを維持しながら、よりよい交通体系に見直すことを確認しました。同会議は、今年10月までに数回開催の予定。次の会議では、デマンド交通の導入に向けた提案を行います。

デマンド交通とは、自宅から病院や商店などの外出先へ、外出先から自宅へとといった戸口から戸口を結ぶ点が、最大の特徴の公共の乗り物です。乗車場所や目的地、乗車時間などを予約することで利用できます。乗り合いのため、ほかの予約者がいれば、乗り合わせになる場合もあります。

市内にはバスが8路線、予約型乗合タクシーが1路線、昭和と阿曾地区を走るコミュニティバス(総社こまわりくん)が4路線と、タクシー事業者5社が運行しています。



地域公共交通会議

## 太陽光発電 発電能力 最大30キロワット



## 市役所の照明や動力の電力に

30kWの発電能力がある太陽光発電装置を総社市保健センターの屋上に設置しました。8月1日から市役所の電力の一部を賄っています。

発電量はリアルタイムで、市役所玄関の壁面に設置したモニターで確認できます。8月の晴れた日、日中で約30kW(一般家庭の7軒分)、早朝や夕方には5kW前後を発電しています。

発電用パネルは縦1m、横1.3mの大きさで、168枚を設置。電気料金が年間約30万円の節約になり、二酸化炭素の排出量の抑制などにも効果があります。また、エコの啓発にもつながると考えています。

今年4月に工事に着手し約4か月かけ整備しました。事業費は3150万円。

問い合わせ 契約管財課 財産管理係 (☎0227)



総社市保健センターの屋上に整然と並べ設置した太陽光発電用パネル。名前は「そうじやたいよう君」(写真上)。市役所玄関に設置された発電量をリアルタイムで確認できるモニター(写真下)